

11月22日(金)

本日はとても寒い中、午前中に広島大学附属福山中・高等学校で授業を観察し、午後からその授業についての授業研究を行いました。

広島大学附属福山中・高等学校では中学生と高校生の英語の授業を観察しました。授業はほとんど英語で行われていました。

中学2年生の授業は海外の人にとって難しい日本語を説明することを、高校生の授業は解決策や結果などをふまえて論理的に説明することをねらいとして授業されていました。

研修生は、生徒が英語で会話している様子などを熱心に観察していました。



午後からは、CICEの新藤さんが学校現場で実践している付箋を使用した討議方法を説明し、実際にその方法で午前中に見学した授業について討議しました。最初、研修生は慣れない話し合いの方法に戸惑っていましたが、次第に活発な議論が繰り広げられ、グループで協力し意見をまとめて発表しました。教材や環境、教師・生徒の態度など様々な視点から意見が出ました。

本日で広島での研修は終了です。明日からは東京での研修になります。

